

新型コロナウイルス今後の備えは

小林 博文（市民ネット）



現在も世界で猛威を振るう、新型コロナウイルス感染症。想定される第2波、3波に備え、これまでの対応を検証し、今後の対応について質問する。

Q マスクや消毒液、保護具、防護員等の備蓄数量や保管管理について市では今後、どのような対応をするのか。

A 衛生資材は、市役所、市立病院、消防本部でそれぞれ備蓄している。今回の新型コロナウイルス感染症により、今後は備蓄数の増量やローリングストックなどの見直しが必要。

Q 想定される第二波、三波に備え、感染拡大地域からの帰省者に、一時待機用宿泊施設を提供する（有償可）ため、市内の宿泊施設と調整する考えは。

A 帰省者自身で宿泊施設を確保することを基本と考えるが、希望者へは案内を行う。

Q 感染した方や誤って感染を疑われた方への誹謗中傷や、生活に必要不可欠な仕事をされるエッセ

新型コロナウイルス感染症対策

赤堀 博（みどり21）



新型コロナウイルス感染はいまだ終息していない状況であり、第2・3波による長期化が予想されるため、医療体制の強化や感染予防に関わる対応・改善が必要である。

Q 検査場設置事業の取り組みの経緯と運営方法は。

A 新型コロナウイルス感染症患者の増加に備え、PCR検査体制の拡充、小笠医師会と掛川市、御前崎市、菊川市で県との委託契約により小笠掛川PCR検体採取センターを設置、6月に入り開設した。期間は7月31日までの予定だが、発生状況により短縮、延長もある。週2回開設、対象者は中学生以上、完全予約制、1日10件まで。

Q 家庭医療センターのドライブスルー診療とは。

A クリニック内での感染拡大を防ぐため、4月から発熱などの風邪症状のある患者と、それ以外の患者が接触しないように、診察時間帯や診察室を分けた運用を開始

した。4月下旬からさらに安全性を高めるために風邪、発熱者の診察をドライブスルー方式による野外診療に切り替えた。発熱症状のある方は、直接来院せず、事前に電話で問い合わせが必要。

Q あかつちクリニックではPCR検査は実施しているか。

A 実施していない。菊川病院にて、国内の感染拡大の初期から実施できる体制が整っている。あかつちクリニックの医師が検査を必要と判断した場合には、菊川病院で実施する。



感染予防のために、できること。



あかつちクリニック